



宮城県農業高等学校 科学部チームsmiles

宮城県名取市高館吉田字吉合66番地

サクラの新品種開発で桜の緑被率を上げる

～被災農業高校が立ち向かう震災10年目の挑戦！～



桜でCO₂の大幅削減を発信中！

Action

科学部で代々、東日本大震災からの復興のため津波跡の校庭に残った桜を用い、増殖と植栽を繰り返し、間もなく千本となりました。

人を魅了し愛される桜とより多くの地域住民を繋ぐことで、結果、緑被率も上がると考え品種開発も行ってきました。候補の桜について調べたところ、3.5%濃度の塩水を使った葉の塩害実験では桜13種類の中で2番目に低く塩害が非常に起き難いこと、ほかに二酸化炭素を多く取り組む形質も見られ、今後街路樹や沿岸部の緑化、さらには森林の一部として貢献できると考えられました。そこで地区の名前を1字貰って「玉夢桜（タマユメザクラ）」と命名、地区と共同で申請したところ、2020年8月、公益財団法人日本花の会から新品種の認定を受けました。私達は現在、昨年の台風19号の被災地などで、オンリーワンの桜、奇跡の桜、そして新しい植栽法を紹介しながら、桜でなければできないCO₂吸収促進を提言しています。